

注 意 事 項

1 受付について

- (1) 競技場の開門時間は7時とする。
- (2) 団体受付は行わない。

2 競技規則および申し合せ事項について

- (1) 本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会競技注意事項に基づいて行う。
- (2) 本大会のスタート動作における競技規則については、国内適用で競技を行う。

3 招集所について

- (1) 招集所は100mゴール後方に設ける。
- (2) 招集時にはアスリートビブス(ゼッケン)つけたユニフォームを着用した状態であること。
- (3) 招集時間は次の通りである。

トラック競技	競技開始時刻の40分前から開始し、20分前に完了させる。
フィールド競技(棒高跳を除く)	競技開始時刻の50分前から開始し、30分前に完了させる。

- (4) 招集時間に遅れた者は棄権とみなし、出場を認めない。
- (5) 欠場者は、事前に招集所へ報告する。

4 リレー競技のオーダー用紙提出について

- (1) 4×100mR および 4×400mR は競技開始時刻の60分前までに、記録室へ各団体の代表者が提出すること。
- (2) 提出時間に遅れたチームは棄権とみなし、出場を認めない。

5 アスリートビブス(ゼッケン)について

- (1)トラック競技・投擲競技については、胸背部に4点留めを行い、確実につけること。跳躍競技については、背または胸につけるだけでもよい。

6 腰ナンバーカードについて

- (1) 腰ナンバーカードは主催者で用意を行う。
- (2) トラック種目は腰ナンバーカードを右腰やや後方に数字がはっきりと確認できるように付けること。
また、競技終了後は速やかに返却すること。

7 使用器具について

- (1) 原則として競技場備え付けのものを使用する。ただし、「投擲器具」、「リレー競技のマーク」については各団体から持参したものを使用してもよい。ただし、投擲器具については大会本部にて検定を受けること。なお、検定については次のとおりにする。

検定時間	検定場所
8:45～9:00	各ピット

8 競技について

- (1) 競技用靴については「<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>」を参照し、遵守すること。
- (2) 全天候型トラックのため、トラック・フィールドともにスパイクのピンの長さは 7mm 以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投は 12mm 以下のものを使用すること。トラック競技において、各団体ベンチに戻る際、本部前を通行することは禁止する。
- (3) トラック競技については、計時は全て写真判定装置を使用する。
- (4) 選手及び団体関係者はスマートフォン、ビデオ等の情報通信機器類を招集所及び競技場所を持ち込むことはできない。また、撮影については注意事項第 13 項を参照し、遵守すること。
- (5) ケガ等については応急処置を行うが、その後は各団体で対処すること。以後の責任は一切負わない。
- (6) 競技者は、競技場所から勝手に離れることはできない。
- (7) 競技のレーン順およびフィールド競技の試技順については、すべてプログラム記載どおりに行う。
- (8) フィールド競技は、すべて計測を行う。試技の回数は3回とする。
- (9) 走幅跳は 2 ピットで行う。三段跳の踏切板は男子 10m、女子 8mとする。高さの競技におけるバーの上げ方は枠内の通りとする。

【男子】

○走高跳 ※練習：1m50/1m80

1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	1m98
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

※以降 3 cm ずつ

【女子】

○走高跳 ※練習：1m30/1m50

1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m68
------	------	------	------	------	------	------	------	------

※以降 3 cm ずつ

- (10) トラック競技とフィールド競技に重複して出場する選手はトラック競技を優先する。その場合、フィールド競技役員に必ず許可を得ること。
- (11) 写真判定器に不備が生じた場合は、再レースを行うことがある。

9 ゴミについて

- (1) ゴミについては、各自が責任を持って自宅へ持ち帰ること。

10 競技場での練習について

- (1) 競技場内の練習については競技会開始時刻の 20 分前までとする。
- (2) 100m、100mH、110mH の競技中は、バックストレートでのウォーミングアップを認める。
- (3) 800m の競技中は、バックストレートの外側レーンを利用してのウォーミングアップを認める。
ただし、バックストレートを競技者が通過中は認めない。
- (4) 本競技会に参加していない者の競技場内での練習は一切認めない。
- (5) 競技場周辺での練習については、公園利用者等に迷惑になるような行動は慎むこと。

11 応援について

- (1) 競技区域や立入禁止区域、カラーコーンなどで規制された区域には入らないこと。
- (2) メガホンなどを使用した集団応援は禁止する。
- (3) 競技の進行に支障のある応援を禁止する。特にスタート時は静粛にすること。

12 各出場団体の待機場所について

- (1) 待機場所でのマナーなどについて、主催者の注意に従わない場合は退場させることもある。
- (2) 待機場所での荷物・貴重品の管理には各自十分に注意すること。盗難・紛失等について、一切責任を負わない。
- (3) 待機場所においても熱中症等に十分注意し、体調管理に留意すること。

13 写真・ビデオ撮影について

- (1) 選手の人権保護・肖像権保護のため、競技会における写真・ビデオ撮影について、御理解と御協力をお願いします。各団体の関係者等が撮影を希望する場合は、必ず本部で許可を得てください。その際、撮影者は撮影者用ビブスを着用してもらいます。

< 観客席からの撮影制限 >

- 1 観客席での撮影を禁止する区域は下記の通りです。
 - (1) 各種目のスタート後方
 - (2) 走高跳、走幅跳・三段跳・棒高跳の助走後方・着地前方
 - (3) 走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）
- 2 保護者および本人の了解がない撮影、SNS や HP への掲載を禁止します。
- 3 選手がスターティングブロックの足あわせをしたり、試技を待っていたりする間や体を動かしているなどの競技以外の場面の撮影を禁止します。
- 4 上記の内容及びその他、選手や関係者などの他者を傷つけたり、迷惑をかけたりする行為と主催者が判断した場合は、速やかに警察および関係機関に連絡をとります。

14 大会結果速報について

- (1) 大会結果速報については、東三河陸上競技協会ホームページを閲覧してください。